

事業所名 みっけ

支援プログラム

作成日

R7

年

1

月

20

日

法人（事業所）理念		和顔愛語の精神で地域福祉に貢献する										
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしいコミュニケーション～自分の気持ちが出出できる（SST・絵や写真カード） ・大切な個性を受け止める。 ・保護者・学校・他機関との密な情報共有 										
営業時間		9	時	30	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	体温測定。感染対策(手洗い、手指消毒は、視覚的に理解できるようにします) 環境整備を行い、掲示・視覚支援を用いて自分でできることは自分で取り組みます。										
	運動・感覚	身体を動かす。姿勢保持。ポディーバランス。戸外活動。トランポリン。ボルタリング。平均台。ビジョントレーニング。 感覚過敏に配慮した環境調整（個室・つい立・空調・イヤーマフなど） 感覚特性を活用できる支援（ハンモック・粘土・ハサミ・トランポリンなど）										
	認知・行動	次の活動への切り替え～時間の意識（タイマー・約束の時間を記入など） 視覚支援を用いたスケジュールの活用。自立課題への取り組み。 制作（見本を見て同じものを作るなど）おやつ作り（材料の大きさ・重さ・色などの理解など）										
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションのスキルアップ～読み書きの練習。SSTによる言語表出・受容。 絵・写真カードを用いて、自分の気持ちを相手に伝えます。 コミュニケーションボードを使用した支援を取り入れます。										
	人間関係 社会性	他者との関わり～買い物やお出かけによる人とのやりとり。おやつ作りでの順番を待つ。相手との話合いで、玩具や物の貸し借りをを行います。 個々に応じた、集団参加への促しを行います。 イベントなどで他事業所との交流。										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・疑問やご質問に対しての情報提供 ・個別支援計画作成に伴う面談 ・家族からの相談に対する助言 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・生活スタイルの切り替えを見据えた、将来的な移行支援 ・地域とのつながり（他事業所とのふれあい） ・卒業後の移行支援 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、医療機関、他事業所との情報共有 ・支援方法などの相談援助 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・センター内、事業所内、外部研修への参加 ・研修後、事業所内での伝達講習 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み（プールでの水遊び・園外レクリエーション） ・ハロウィン ・クリスマス会 ・冬休み（昼食バイキング・初詣） ・節分 ・保護者参加型の活動 ・春休み（卒業お祝い会） 										